

平成21年6月度街づくり委員会・準備委員会議事録

日時：’09-6-11（木）19：30～22：00

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席者：雨宮、奥村、中井、竹吉、戸所、乾
欠席）橋本、杉本

議事内容：

今月から、雨宮会長指示により、定例委員会での議論を円滑に運ぶため準備委員会が復活した。メンバーは会長氏名の上記8名。

1. わが街つくる会の新委員の要請状況について

現在までの雨宮会長、橋本、中井各委員による、新委員要請状況は以下の通り。

住民代表：浜田氏（西の庄）、杉中氏（大津スカイハイツ）、小川氏（鶴の里）、
赤木氏（池の里、女性）、西村氏（南山の手）以上承諾済み。

自治連代表：2名を要請中

社協代表：1名要請中

有識者：大室先生

企業・運行业者等：要請中

2. 「生活バス・ぐるっと平野号」の実運行に向けて

上記委員の拡大を受けて、実運行に向けての作業に着手するが、以下の5つの検討委員会を設ける事とした。各委員会には委員全員に参画してもらう事とした。各委員会には配置した正・副委員長の下、各課題への対応を議論して貰い、来年10月の実運行に向けてスタートさせることとした。スケジュール詳細は事務局で調整中。

次回委員会では以下の各委員会・メンバー（案）について議論を行う。

統括リーダー：雨宮会長

運営組織検討委員会：乾（正）、竹吉（副）、奥村、赤木、森川、大室

採算性検討委員会：橋本（正）、森（副）、原田、西本、川上、自治連、社協

運行検討委員会：杉本（正）、中井（副）、上原、志賀、浜田、西村、自治連

学区住民調査委員会：戸所（正）、大林、泊

広報委員会：事務局（乾、戸所）、寺井

なお、今後新たに加わる委員については順次配置して行く。

3. 近江バス訪問報告

生活バスの実運行に向けて、関係強化を図るため、雨宮、中井、橋本、杉本の4氏が近江バスを訪問、今後の展開に向けて好感触を得た。以下にポイントを記載した。

- ・ 今後定期的に会合を持つことで合意。検討委員会等への参加も前向き。
- ・ 会社では研究チームがあって、常に路線変更などの研究をしている。

3ヶ月もあれば路線変更や、新路線は作れる。

- ・ ジャンボタクシーはないが小型バス（15人乗り）はある。
- ・ 廃車車両を格安で提供可能。ソフト面（運転手等）での協力も可能。
- ・ コミュニティバスが走った場合、山手の路線バスを廃止するとの情報は嘘。
- ・ 最初から近江バスだけでことを進めるのは、業者間の問題もある。必ず他社にも声を掛けておいて欲しい。

経費など、具体的な話は一切出ていないが、大津は近江バスのエリアでもあり、協力は惜しまないとの姿勢が見られたとのこと。次回委員会で、中井委員から詳細報告をしてもらう事とした。

4. 住民フォーラム「まちづくりと暮らしの足」へのパネラー参加について

7月5日に大津市木戸コミュニティセンターで開催予定の上記フォーラムに、雨宮会長宛にパネラーとして参加要請があった。パネルディスカッションのタイトルは「滋賀県各地域での新しい公共交通実現の取り組み」。パネラーは岡崎愛知学院大学教授、暮らしの足を考える会、平野学区わが街つくる会、唐崎にバスを走らせる会、高島市の住民組織等。雨宮会長と乾が参加する。

5. 淡海ネットでの市民事業相談会への参加について

わが街つくる会の活動内容を紹介し、支援のあり方を検討してもらう。参加者は乾。

以上